平成25年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式3

●施設の概要

施設名	岐阜市ドリームシアター岐阜	所管課	教育委員会 青少年教育課	
所在地	岐阜市明徳町6番地			
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団			
指定期間	平成24年4月1日~平成29年3月31日			
選定方法	□公募	非公募		
料金制	☑ 使用料 □ 利用料	金 🗆	料金徴収なし	
指定管理委託料(年額)	94,331,000円			
施設の設置目的	青少年の日常的な文化活動を進めるとともに、市民の教養の向上を図る。			
施設概要	研修室3、会議室、和室2、クッキングルーム、フ ホール、パソコンルーム、クラフトルーム	プレイルーム、音	楽スタジオ、音調室、リハーサル室、メイン	

●利用状況

		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数(単位:人)		31,710	30,678	32,133	33,100	30,666
各室 稼働 状況 (%)	施設全体の稼働率(日)	72.5%	68.9%	73.9%	69.7%	72.0%
	施設(個人利用フロア)の稼働率(日)	100.0%	99.3%	99.3%	99.3%	98.6%

●業務の履行確認

● 業務の腹 行 区 分	確認事項	履行状況
	(1)利用日・利用時間の厳守	①利用日・利用時間は厳守している。
利用者 サービス	②適切な人員配置	②利用者サービスが低下しないよう適切な人員配置をしている。
	③広報の方策	③広報ぎふ、民間情報誌、新聞、ラジオなどの広報媒体への情報提供のほか、近隣市町の施設等に、催しの案内・リーフレット等を直接持参している。
	④苦情への対応	④マニュアルに基づき対応するとともに、必要に応じ館 内会議等で協議している。
	下記主催事業を実施すること	
	①子ども対象事業	①子ども対象事業 28種類52回 参加者771人
指定事業	②親子対象事業	②親子対象事業 24種類52回 参加者1,098人
自主事業	③一般市民対象事業	③一般対象事業 12種類58回 参加者450人
	④特別企画事業	④特別企画事業 8回 参加者3,692人
	①日常·定期清掃業務	①清掃業務・日常清掃 毎日(開館日)・定期清掃 床面 12・3月 グリストラップ 12月 照明・換気扇1月 カーペット3月実施
	②タワーパーキング管理・保守点検	②タワーパーキング保守点検:毎月実施
施設管理	③警備業務	③警備業務 ・日常警備 毎日(開館日) ・機械警備 毎夜(午後9時~午前9時まで) 休館日(午前9時~翌日の午前9時まで)
	④自家用電気工作物保安管理業務	④自家用電気工作物保守管理:11・1・3月実施

施設管理	⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検 ⑥展示備品保守点検 ⑦自動火災報知設備保守点検 ⑧空調設備保守点検 ⑨自動ドア保守点検 ⑩エレベーター保守点検 ⑪パソコンサーバー保守点検 ⑫カラー複合機保守点検 ⑬空気環境測定 ⑪飲料用貯水槽清掃 ⑤水質検査 ⑯ねずみ等の生息調査及び駆除	⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検 舞台照明装置 3月実施 音響機器 3月実施 ⑥展示備品保守点検:2月実施 ⑦消防用設備保守点検:2月実施 ⑧空調設備保守点検:毎月実施 ⑨自動ドア保守点検:2月実施 ⑩エレベーター保守点検:毎月実施 ⑪オンベーター保守点検:毎月実施 ⑫カラー複合機保守点検:毎月実施 ⑬カラー複合機保守点検:毎月実施 ⑬空気環境測定:11・1・3月実施 ⑬飲料用貯水槽清掃:9月実施済 ⑤水質検査:3月実施 ⑯ねずみ等の生息調査:6・9月実施済 ※職員による日常点検の実施 毎日(開館時間)に施設全般について点検を実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・適切な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常点検により異常個所や破損個所等の早期発見に 努めている。また、簡易な修繕については職員が迅速 に対応している。 ・3階研修室移動間仕切り修理 研修室を一つの部屋にしたり、二つの部屋に分けたりし た部屋の活用方法で、施設を最大限有効に活用できる 状態を維持している。 ・多目的トイレに 温水洗浄器 を設置 多目的トイレに温水洗浄器を設置することで、利用者の 利便性を高めた。
危機管理• 法令遵守	①個人情報の保護 ②緊急時の対応策 ③関係法令の遵守	①講座申込みなどの際に入手する個人情報は、外付けのHDDに保存し、閉館時には金庫に保管している。 ②緊急地震速報の設置により対応マニュアルを作成し、職員及び来館者に周知している。 ・危機管理マニュアルを整備し、各職員に配布している。 ・消防訓練の実施や、救急救命講習・防犯対策研修会等に参加している。 ③条例・規則及び内規に基づき適切に実施している。

●利用者評価 ○施設利用者アンケート ・すべての利用団体にアンケートを実施 アンケート質問項目は「職員の接客マナー」、「施設の使いやすさ」、「ご意見・ご要望」 3月より、質問項目を「利用全般」「設備・施設」「接客マナー」に変更。 利用者アンケートの 実施状況 ○主催事業参加者アンケート ・講座や特別企画事業(イベント等)の参加者にアンケートを.実施 アンケート質問項目は「何で知りましたか」、「楽しかったですか」等及び「感想」 ○施設利用者アンケート 回収枚数 496枚 【項目】10月~2月:大変よかった・よかった・ふつう・悪かった(4段階評価) 3月:大変満足・満足・ふつう・不満・大変不満(5段階評価)、「利用全般」の項目追加 •10月~2月 ①回収枚数 409枚 接客マナー 大変よかった 70.4%、よかった 26.4%、普通 3.2%、悪かった 0.0% 「施設の使いやすさ」 大変よかった 66.5%、よかった 29.8%、普通 3.7%、悪かった 0.0% • 3 月 ①回収枚数 87枚 ②初回利用 8枚 「利用全般」 大変満足 75.0%、満足 25.0%、普通 0.0%、不満 0.0%、大変不満0.0% 「設備・施設」 大変満足 75.0%、満足 25.0%、普通 0.0%、不満 0.0%、大変不満0.0% 「接客マナー」 大変満足 87.5%、満足 12.5%、普通 0.0%、不満 0.0%、大変不満0.0% ③複数回利用 79枚 「利用全般」 大変満足 62.0%、満足 27.8%、普通 8.9%、不満 1.3%、大変不満0.0% 「設備・施設」 大変満足 60.0%、満足 28.0%、普通 10.7%、不満 1.3%、大変不満0.0% 「接客マナー」 大変満足 66.7%、満足 24.4%、普通 8.9%、不満 0.0%、大変不満0.0% <主な意見> 利用者アンケートの 快適に使わせていただいています。 実施結果 これからも利用させていただきます。 ○主催事業参加者アンケート ①回収枚数 345枚 「何で知りましたか」 ポスター・チラシ 54.7%、広報ぎふ 30.4%、インターネット 3.3%、情報誌 1.4%、その他 10.2% 「楽しかったですか」 大変満足 62.0%、満足 36.8%、やや不満足 0.6%、不満足 0.6% <主な意見> ・子どもが英語の歌を自ら聞こうとしている様子が見られ、英語とふれあう機会が出来てよかった。 (なかよし親子のつどいIV) ・とても丁寧に基本的な技術も含めて教えていただきました。(子どものために作る、簡単おやつ) ・もっと講師の数を多くしてほしい。もっと日数がほしい。(初心者のためのパソコン便利活用術) ○人形劇鑑賞会について 回収枚数 118枚 「満足度」 初回利用 38枚 大変満足 73.7%、満足 26.3%、やや不満足 0.0%、不満足 0.0% 複数回利用 80枚 大変満足 75.0%、満足 22.5%、やや不満足 2.5%、不満足 0.0% <主な意見> ・初めて参加しました。家族でやってくださってすごいと思いました。たくさんの工夫や腹話術も上手で楽 しかったです ・影絵ならではの世界に引き込まれました。とても想像力がふくらみます。花火は本当にきれいでした。 ・リズムもテンポよく楽しく大人も満足です。近い所の劇団なので、また来ていただき見たいと思います。 利用者から頂いた意見等に対しては、下記のとおり適切に対応している。 <主な意見> ・冷暖房費を無料にしてほしい。 →条例により金額が定められていることを説明した。 ・マイク、CDの調節などもう少し時間をかけずにやっていただけると助かります。 →職員の研修を再度実施し、効率よく対応できるようにします。 利用者からの 要望・苦情と ・黒マーカーペンが書きにくくなっていて先生が自分で購入されました。お願いした時点で交換して いただきたいです 対処•改善 →インクの確認は随時行っているが、書きにくい場合はすぐに事務室に連絡してもらうようお願いする。

時計が後方からでは見づらい→時計は構造上移動が不可能なことを説明

・その他軽微な要望

●指定管理者の選定基準に基づく評価

● 111/€ 1	定管理者の選定基準に基づく評価 - - -				評	価
区分	選定基準	評 価 項 目 具体的な業務要求水準	指定 管理者	所管課	評価 委員会	
公平性透明性	I 住民の平等 利用が確保 されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解 度、取組姿勢など)	①市立の教育文化施設として、条例・施行規則に則った利用許可を行い、特定団体や個人に対して、特段の便宜を図っていないか。	А	А	А
		(2)平等利用を確保するための体制、 モニタリングなど	①年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、 改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円 滑で公正な施設運営に努めているか。	А	А	А
		(3)情報公開、広報の方策	①利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレット やホームページに掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S
		(4)個人情報を保護するための方策	①個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報 公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	А	А	А
			区分評価			А
効果性	II 事業計画書の対象施設の対象施設 目 目 を である を である と		①「ドリームシアター岐阜経営方針」のとおり「ふれあい、 遊び、創造」をテーマとし、青少年教育や生涯学習に寄 与する施設運営をしているか。	А	А	А
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の 魅力的な提案の有無、内容	①各フロアの特質を生かした特徴的なサービス提供や、 市民協働によるサービス向上、体験コーナーの充実を 図っているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方 法及び対応方策など	①利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集 約し、改善に努めているか。	А	А	А
		(4)利用者に対するサービス向上の方 策	①参加者や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や 満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしてい るか。	S	S	S
		(5)利用促進、利用者増の方策	①施設利用や主催事業のPR活動とともに、新しいプログラム開発に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限 発揮できるスタッフの配置	①より質の高い文化体験の提供や効率の良い施設管理をするために、各分野に精通した職員を配置しているか。	А	А	А
			区分評価			S

					価	
区分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	指定 管理者	評 所管課	評価委員会
	の内容が、 管理経費の 縮減が図ら	の縮減が図られるものであること』に対	①より質の高い事業とサービスの提供を追求しつつも、利用者の安全性を損なうことなく、必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	А	А	А
		(2)指定管理経費の設定額	①収支予算書との妥当性はどうか。	А	А	А
効率性		(3)指定管理経費の妥当性(サービス とコストのバランスなど)	①利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減 に努めているか。	А	А	А
		(4)収支計画の妥当性	①削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	А	А	А
		(5)管理経費縮減の具体的方策	①事業・活動の目的の範囲内で、ボランティアの活用や 事業の精選等、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努 力しているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	①職員の担当グループ化や勤務時間を工夫し、より効率 よく業務ができるように配置しているか。	А	А	А
			区分評価			А
	理を安定し て行う物的 能力、人的	(1)『事業計画書に沿った管理を安定 して行う物的能力、人的能力を有して いること』に対する基本的な考え方(理 解度、取組姿勢など)	①教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連 する事業、業務などの実績	①類似施設等の管理実績を参考にしているか。	А	А	А
		(3)経営基盤の安定性	①公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	А	А	А
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、 専門知識など	①各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。また、独自の施設内研修に各職員の専門性を活用しているか。	S	S	S
安定性安全性		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	①より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務 しやすい職場環境ができているか。	А	А	А
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人 材育成の方策	①各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした 研修計画書が作成されているか。	S	А	А
		力(資金力、損害賠償能力など)	①夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・ 衛生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応 が確認されているか。	S	А	А
		(8)学校及び教育委員会との連携	①学校や教育委員会との連携やプログラム作成がなされているか。	SS	SS	SS
			区分評価			А
	の内阜に の内阜に がある域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に の地域に のがある。 はは、 のがある。 はは、 のがある。 はは、 のがある。 はは、 のがある。 はは、 のがある。 はは、 のがある。 はない。 はな。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はな。 はない。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下、「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取り組み姿勢など)		S	S	S
		(2)地元の法人その他の団体の育成 (一部業務の再委託先)	①地元の法人その他の団体との連携に努めるとともに、そ の育成に取り組んでいるか。	SS	SS	SS
貢献性		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等 の雇用	①施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地 元の住民等の雇用に留意しているか。	А	А	А
		(4)地元での資材等の調達	①資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意 しているか。	А	А	А
		(5)その他地元への貢献に関すること	①地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に 努めているか。	S	S	S
			区分評価			S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

- 岐阜経済大学ボランティアラーニングセンターに、サポーター募集案内について情報提供した。 - ヤフージャパンや子育て情報サイト「いこーよ」にもイベント情報を提供をし、特に「いこーよ」のサイトではドリームフェスタ秋が10月のアクセスランキング全国8678件中第251位。岐阜県においては、95件中第1位となった。
- ・岐阜市小中教頭会及び各務原市小中教頭会、岐阜市保育所長・園長会にて、施設の利用について利用の説明を行っている。

(I - (3) - (1))

- ・各種セミナー・イベント事業・団体利用の受け入れには、多くの市民講師、ボランティアが参加しており、 個人の技能を活かす機会の提供と、サービス向上の両立を図っている。特に教育諸団体の利用では、お 話ボランティアによる読み聞かせが数多く活用されている。また、自由体験のできる4・5階施設において は、ボランティアによるミニイベントも開催しており、施設の充実に努めている。
- ・壊れたおもちゃを治療してくれる市民活動団体「おもちゃ病院岐阜」と連携し、毎月、子どもたちにもの を大切にする心を育てている。
- ・東海学院大学きのこの会と恊働し、来館した子どもたちの活動の援助をしている。 (Ⅲ-(2)-①)
- ・音楽スタジオのサービス向上を図るため、ギターアンプと録音機器を新規購入し、設備の充実を図った。
- -1階と7階の多目的トイレに温水洗浄器を設置することで、サービス向上を図った。
- 事業団としてサービス向上分科会を定期的に開催し、利用者に対するサービス向上の方策について 検討を重ね、子どもスマイルステーションを設置した。

 $(\Pi - (4) - (1))$

- ・小中学校等の教育諸団体向けパンフレットをリニューアルし、新たに7つの体験プログラムを追加した。・岐阜市長良川うかいミュージアムの開館1周年イベントに協力し、活動プログラムの内容の一部を出展した。また、春休みのイベントに協力し、ダンボール迷路を貸出しし、運営方法についてアドバイスをした。・岐阜大学教育学部の「学習プログラム開発論」の2コマを担当し、ドリームシアター岐阜の学習プログラムの現状と課題についての講義などをした。
- フェスタ秋においては、魅力あるプログラムを開発したり、よりターゲットを絞った子育で情報サイトへの情報提供をしたことなどにより、過去最高の来館者数となった。
- ・利用者数が上半期に落ち込んだが、新規にドリームミニフェスタを開催するなど利用拡大を図った。 (Ⅱ-(5)-①)
- ・セミナー(講座)等の主催事業、学校、子ども会等の団体利用の受け入れ、4・5階フロアの個人利用、イベント等において、市民ボランティアを積極的に活用している。また、ボランティアを対象にした研修会を開催し、育成に努めている。これにより市民サービスの向上と経費削減の両立が図られている。
- ・光熱水量の年間縮減目標を設定し、日頃から節電・節水に努めている。昨年度の下半期と比較し、電気使用量は93.2%となっている。

(III - (5) - (1))

- 事業団として人材育成分科会を定期的に開催し、人材育成について検討を重ね当施設においても資格取得計画を作成した。
- ・岐阜県コミュニティ診断士や整理収納アドバイザーの資格を取得するなど、専門性を有するスタッフの 育成に取り組んでいる。

 $(\text{IV}-(1)-\boxed{\cdot}(4)-\boxed{\cdot}(6)-\boxed{\cdot})$

- ・危機管理対応マニュアルが適切に作成されている。マニュアルは全職員に配布し、館内会議等を通して 内容の周知を図っている。
- ・緊急地震速報機器の設置により対応マニュアルを作成し、職員及び来館者に周知している。また、**館内会議において定期的にマニュアルの確認及び読み合わせを行っている。** (IV-(7)-①)

今期の取組み に対する評価

ぎふサイエンスフェスティバル2013の実行委員会事務局の一員として、開催準備に取り組んだ。また、昨 年度より体験ブースを増やしたことで、多くの子ども達や家族連れに楽しんでもらうことができた。 ・岐阜市立図書館のボランティア研修会の講師として協力するとともに、ドリームシアター岐阜の活動の 周知に努めている。 ・主に小中学生の児童生徒を対象に、通学時などに天候が急変した時やトイレで困ったとき、体調不良 時などの立ち寄り場所として利用できるよう「子どもスマイルステーション」を設置したことを校長会で周 知。特に、近隣の学校については、直接訪問して周知した。 ・地元中学校の「職場体験」において、教頭会の会議において受け入れのPRをするなど積極的に中学 生を受け入れている。下半期においては、岐阜中央中学校2名、岐阜清流中学校3名の受け入れをし て、当館の仕事を理解してもらうことができた。 (IV - (8) - (1))・市の教育基本目標2の基本施策7「これからの社会を担う青少年の健全育成の推進」をふまえ、①魅力あ る活動の場の提供、②地元の人々の交流・育成推進、③地元の振興、④ボランティアの活動支援に重点 を置いた事業計画である。 今期の取組み (V-(1)-(1))に対する評価 ・岐阜市シニアリーダークラブのクラフト研修の講師として協力するほか、活動の場としても提供してい る。上半期までに12の団体と連携してきたが、下半期には新たに「おもちゃ病院ぎふ」、「東海学院大学 きのこの会」の2団体と連携することができた。また、次年度に向け「岐阜経済大学ボランティアラーニン グセンター」、「東海学院大学BBSサークル」の2団体と連携に向け協議中である。 ・健幸ウォーク2013におけるイベント協力のため、高島屋前のステージにて家族連れを対象に大道芸体 験コーナーを設けた。 主に小中学生の児童生徒を対象に、通学時などに天候が急変した時やトイレで困ったとき、体調不良 時などの立ち寄り場所として利用できるよう「子どもスマイルステーション」を設置。雨傘も無料で貸し出 しをしている。 (V - (5) - (1))その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。 ○評価委員会の意見 ・ドリームフェスタのような事業を増やすと集客数がさらに増えると思う →利用者数が上半期に落ち込んだが、ドリームミニフェスタを開催するなど利用拡大を図った。 $(\Pi - (5) - 1)$ ・施設利用者が減少している理由を分析して、今後の対応を検討されたい。 →団体利用については、主に教育諸団体の減少がみられたことから、**冬の特別プログラムを企画し、岐** 阜市保育所長・園長会にて情報提供をしたほか、各務原市小中教頭会にて、ドリームシアター岐阜の利 用について案内をした。 前回までの意見を $(\Pi - (5) - 1)$

踏まえた取組み状況

次年度に向け、団体向けの体験プログラムを新たに7つ追加したパンフレットを作成し、岐阜市及び 近隣市町の単位子ども会の役員に配布をした。

(IV - (8) - (1))

→貸館利用については、サークル構成員の高齢化によるサークル活動停止や指導者の引越しなどで活 動拠点を変更するなど様々な要因が考えられることから、新規顧客開拓のため「ドリーム市民企画セミ ナー」を次年度開催の予定で準備を進めている。また、施設パンフレットをリニューアルし、各関係施設 へ配布をしている。

(II - (5) - (1))

・岐阜市教育委員会の指導のもと、スローガンである「子どもが夢を!青少年が志を!市民みんなが生きるよろこびを!」の具現化に向け、引き続き取り組んでいきたい。

・今後もPDCAサイクルやモニタリングシステムを活用し、継続的に改善・見直しを行うことで、より充実した事業の実施に努めたい。

 $(\Pi - (2) - 1)$

・市内や近隣市町の教育機関・関係団体に対する直接的な広報活動と合わせ、様々な媒体を使った広報活動をより積極的に進め、教育団体をはじめ広く利用促進を図っていきたい。また、施設利用の新規顧客の拡大のため、ドリーム市民企画セミナーの開催に向け、講師募集や受講生募集についてPRしていきたい。

 $(\Pi - (5) - (1))$

・今後も利用者の安全・安心を第一にした管理運営に努めるとともに、管理経費の縮減など、効率的運用を図っていきたい。

 $(\Pi - (1) - (1))$

今後の取組み

・資格取得計画に基づき、今後も職員のスキルアップに努めたい。 (IV-(4)-①・(6)-①)

・科学館とは、駅前天体観望会やサイエンスフェスティバルでの連携をしていきたい。 また、自然の家や体育館とは、セミナーやドリームフェスタなどのイベントでの連携、青少年会館とは事業 内容や講師派遣などでの連携をしていきたい。

・子ども・若者総合支援センター及び中央青少年会館との事業連携をしていきたい。 (IV-(8)-①)

・地元団体や大学サークルとの連携事業をさらに強化していきたい。 (V-(2)-①)

・登下校中の子ども達が困ったときや緊急時に立ち寄って援助を求めたり気軽にトイレ等を使用できるなどの機能「子どもスマイルステーション」を設置したことを、よりPRして、さらに地域との連携並びに地域への貢献に努めていきたい。 (V-(5)-①)

●所管課の意見

○「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取組に対する自己評価」について
・「I-(3)-①、II-(2)-①・(4)-①・(5)-①、II-(5)-①、IV-(1)-①・(4)-①・(8)-①、V-(1)-①・(2)-①・(5)-①」について、「指定管理者の取組に対する自己評価」のとおりとする。

- ・Ⅱ-(5)-①については、事業計画書の内容通り業務が履行され、個人利用や主催事業で大きな成果をあげている。施設利用(貸館)について、H25上半期では稼働率が減少していたが、対策がなされ回復している点が良い。
- ・Ⅳ-(6)-①・(7)-①については、事業計画書の範疇で行われていると考えるので、評価を「A」とする。
- ・その他の評価項目については、事業計画書の内容通り業務が履行されている。
- ○利用者の増減について
- ・個人利用及び主催事業、施設利用(貸館)についてH25上半期より増加している。
- ○今後の方針について
- ・今後の利用拡大を図るため、ソフト面はもとよりハード面の充実について検討をしているところである。(駐車場の整備)
- ・今後も市民協働、団体育成、他施設との連携に力を入れながら、主催事業を一層充実させていくことを期待する。
- ・施設利用者を多くしていくための対策を工夫し、利用拡大につながる手立てを考えることが必要である。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い業務が履行されている。
- ・ドリームフェスタのような事業の展開により、利用者の増加という結果が現れている。
- ・資格取得等、人材育成の観点から努力がなされており、評価できる。